



宇美町スポーツ少年団

〒811-2121 糟屋郡宇美町平和1-1-1

宇美町住民福祉センター内

Tel 092-933-2784・Fax 933-2741

Eメール umi-machij.s.c.a@leo.bbq.jp

編集:スポーツ少年団事務局

スポーツは軽く国境を超える

野球とテコンドーで日韓スポーツ交流

STANDARDS Jr.・ひばりが丘チェリオ 誠心館空手道宇美支部・宇美八幡支部



8月31日から9月3日にかけて、韓国ソウル市近郊のキョンギ大学が運営する野球チームとテコンドー道場の小学生43人が宇美町にやってきました。

H18～H20年にかけて、うみだすこ日韓青少年スポーツ交流事業で韓国ソウル市の野球チームやテコンドー道場と国際交流を行ったことがきっかけで、毎年宇美町を訪ねて来てくれるようになりました。

アジアの玄関口福岡は、今後益々国際化が進みます。年少期の国際交流経験が大いに活かされる時代がやってきます。



9月1日(土)に宇美町立武道館において、韓国のテコンドー道場の子ども達22人と指導者6人が誠心館空手道宇美支部・宇美八幡支部の子ども達と国際交流を行いました。

あいさつの後は、お互いに演武を披露しました。テコンドーの演武は「魅せる演武」で、音楽に合わせて板割りなどを披露してくれました。演武の後はグループに分かれて、お互いの技を教え合いました。

年少期に海外の子ども達と交流することはとても素晴らしい経験になります。しかし、いきなり交流をやりなさいといっても、すぐに打ち解け合うことは難しいのですが、スポーツ活動を通じてなら「あっ！」という間に打ち解け合うことができます。正に、「言葉は通じなくてもあつという間に心は通じる！」を実体験できました。

スポーツってなんて素晴らしいコミュニケーションツールなのでしょう！



プレゼント交換を行いました。素敵なプレゼントに団員達も大喜び！

9月2日(日)に原の前野球場において、STANDARDS Jr.とひばりが丘チェリオが韓国のキョンヒ大学小学生野球部の子ども達と軟式野球交流を行いました。

午前中はシップス活動交流会でレクリエーションで交流。午後は野球交流と大変ハードな一日でしたが、練習試合、ノック、キャッチボールと素晴らしいグラウンドコンディションの下、言葉は通じないけど子供たちは楽しくプレイをしていました。

低学年の保護者の皆さん！ぜひお子さんと一緒にジャンプタイムスを読んでください！



4日に博多駅近くの近代ビルで結団式がありました。団長は日本スポーツ少年団常任委員の富田先生です。



出国審査も無事通過しよいよ中国に出発します。2時間後には上海空港、そして7時間後には中国で9番目に大きな都市である武漢市の空港に到着します。団員達のテンションも徐々に上がってきています。



武漢市は中国で9番目に人口が多く1,080万人が暮らしています。見渡す限り高層ビルが連なっています。



武漢空港では武漢市の団員32人と指導者が、私たちの到着を首を長くして待っていてくれました。熱烈歓迎です。



6日に武漢市にある湖北省博物館に行きました。武漢は2200年程前は「楚」が支配していた地域です。当時の武器や鎧が展示されており、正に「リアルキングダム」の世界を堪能してきました。



6日に歓迎晩さん会が盛大に開かれました。武漢の郷土料理を堪能しました。また、中国の団員からの嗜好を凝らしたプレゼントに日本の団員達も大喜びでした。

日中青少年団員交流 宇美町から8人が参加 湖北省武漢市を中心に大陸文化を満喫

8月5日から11日までに7日間日本スポーツ少年団の事業の「日中青少年スポーツ団員交流」が開催され、宇美町スポーツ少年団からは、リーダー会のメンバーを中心に、誠心館宇美八幡支部、宇美町初心者バドミントンクラブ、飛鳳会から8人が参加しました。

この事業は、隔年で派遣と受入を行っており、昨年は島根県で受入を行い、今年は九州と中国ブロックの団員を中国の湖北省へ派遣し、来年は福岡県が受け入れを行う予定です。もちろん宇美町にも中国の団員がやって来る予定です。

武漢市は、内陸部の長江(揚子江)の中流域に位置しており、人口は1,080万人の大都市です。

武漢市の隣の仙桃市でスポーツ交流を行い、宜昌市では、三峡の滝散策や、世界最大級のダムである三峡ダムの見学を行いました。

参加した団員達はこの国際交流を通じて大きく成長しました。来年の受け入れでも中心になって頑張ってくれそうです。

リーダー会に入ると国際交流や国内交流に参加するチャンスが巡ってきます。君もリーダー会に入ろう！



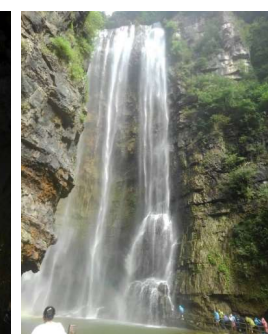
7日に仙桃市のバドミントンセンターで、日本と武漢市の団員がチームを組んで、仙桃市チームとバドミントン交流を行いました。経験者が二人だけでしたが、みんなとても頑張っていました。メンバー以外の団員もバドミントンをととして交流を深めました。



8日にドーム体育館でバスケットボール交流を行いました。エアコンも効いていて快適にゲームを楽しめました。最初に女子が武漢市と対戦し、見事勝つことができました。男子は武道をやっている団員が多く、球技はちょっと苦手だったのか、勝てませんでしたが、みんなとても楽しく交流しました。



8日に仙桃市の田園地帯に突如現れた超高級なゴルフ場に連れて行ってもらい、ゴルフ体験させてもらいました。とっても綺麗なゴルフ場で、経営者曰く中国でも一二を争うくらいの高級クラブだそうです。



9日に中国の十大瀑布の一つ三峡の滝へハイキングに行ってきました。約100メートルの落差と、その景観が素晴らしく、また滝の裏側を通れることで、有名な観光地になっています。



最終日は揚子江中流域にある世界最大級のダム、三峡ダムに行ってきました。湖北省の観光地としても有名で沢山の観光客が訪れていました。高さ189m、幅2,309mもあります。普通の原発や火力発電所だと16基分の発電量があります。

日中青少年スポーツ団員交流も、いよいよ最終プログラムの送別会。日本団を代表して谷崎君が素晴らしい感想を発表してくれました。

どの単位団でも入団できるよ！(ミニバスケは校区分けあり) 自分に合った種目、単位団を探してみよう！

オリンピックの田端健児さんが宇美町にやってきた！ オリンピックから学ぶかけっこ教室



9月17日(月)に宇美町総合スポーツ公園陸上競技場において、「オリンピック・パラリンピック派遣事業」が宇美町教育委員会主催で開催されました。

アトランタオリンピックとシドニーオリンピックで4×400mリレーに出場された田端健児先生による「かけっこ教室」には、運動会を目前に控えた52人の小学生が参加しました。

田端先生は、佐世保市の陸上教室で子ども達の指導をされています。子ども達にはまず、「頭でしっかり考えて、頭に描いたことを体で表現しよう！」「頭と体がつながることが大切だよ！」とお話しされ、コーディネーショントレーニングを取り入れて、かけっこの手ほどきをしていただきました。

とても楽しい指導で、最初からがっちり子ども達の心をつかみ、子ども達も大喜びでした。

今回参加して、体を動かすことの楽しさや喜びを知った子ども達が宇美町スポーツ少年団に入団して、スポーツ活動をやってくれたらとても嬉しいです。



シップス活動交流大会 韓国の子ども達も参加したよ



9月2日(日)に宇美町総合スポーツ公園で、平成30年度シップス活動交流会(全体交流会)が開かれました。

今回のシップス活動交流会には、初の試みとして韓国のソウル市近郊にあるキョンヒ大学が提携しているテコンドウ道場と野球クラブの子ども達45人が特別参加しました。

シップス活動交流会はリーダー会にとっても、年度前半の大きなイベントです。司会や副会長挨拶・レク交流会を担当し、班付リーダーとして各チームをまとめ引っ張ってくれました。

今回はリーダー会員16名が参加しましたが、今時の中高生が大勢集まって、献身的に小学生の世話をしあげること自体が奇跡的です。中高生のリーダーたちが本当に頑張ってくれました。

シップス活動交流会の後に、大塚製薬さんの協賛で熱中症予防講習会を開催しました。

シップス活動交流会で、しっかり汗をかいた後での講義だったので、水分補給の大切さを身をもって理解できたと思います。

宇美町スポーツ少年団では、創立以来23年にわたって毎年団員レベル、リーダーレベル、指導者レベルに分けて熱中症予防講習会を開催してきました。こうした取り組みの成果もあって、保護者の皆さんも含めて熱中症に対する意識は大変高く、創立以来熱中症を含めた重大事故は一度も発生していません。

これまで、たまたま重大事故が発生しなかったわけではなく、スポーツ傷害予防のための医科学研修会の取組も含めて、しっかり取り組んできた成果だと思っています。



熱中症予防講習会では、おしゃべり一つなく参加者全員が真剣に講義を受けていました。

各単位団の特徴ある取り組みや大会の結果等を掲載しますので、写真を添えてどしどし投稿してください。

宇美町初心者バドミントンクラブが頑張っています カレンジュニア小中学生大会入賞多数！ 糟屋郡春季わかば杯中中学生大会で大健闘！



平成30年6月17日粕屋東中学校体育館において、糟屋郡わかば杯中中学生大会が開かれました。

宇美町初心者バドミントンクラブからも多数の中学生選手が出場し、女子初級シングルスで宇美南中学校の森田菜々美さんが見事優勝しました。

また、宇美南中学校の中川耀水君が、男子シングルスで見事優勝しました。中川君は、中体連糟屋区大会でもトーナメントを勝ち抜き、見事3位入賞、筑前地区大会に出場しました。



平成30年7月16日に、カレンジュニア小中学生大会がクロスパルこがで開催され22名が参戦し、日頃の練習の成果を各パートで発揮しました。

シングルス優勝2名・準優勝2名、ダブルス優勝2チーム・準優勝3チームと見事な成長と成績を獲得してくれました。この成績におごることなく日々の練習に精進し、もっと上を目指してくれることをコーチ達は願い指導していきます。

オーシャンカップミニバスケットボール大会 桜原ミニバスが見事優勝！



優勝した桜原ミニバスケットボールクラブ

平成30年4月29日(日)井野小学校にて女子8チームで開催しました。今回は宇美町のチーム同士が決勝で戦い、どちらが勝っても優勝にふさわしい、素晴らしい戦いを見せてくれました。宇美町チームの選手に感想を聞きました。

(宇美ドリームダンカーズ・直江胡桃) 宇美町の女子ミニバスケットボールクラブ3チームでオーシャンカップを開き、一緒に準備をして、他の地域のチームにたくさん参加してもらいました。それにより私たち3チームの結束もより深まったと思います。

(原田バンビーズ・平田理乃) 私たちは、決勝までいきましたが負けて準優勝になりました。あと一点で優勝できたのに、できなかったのが悔しかったです。でも、とてもいい試合ができたと思うので、今後の練習や試合にいかして頑張ります。

(桜原ミニバス) カップ戦では、私たちが得意なアウトナンバーというプレーをして、チームみんなで最後まであきらめずに頑張りました。そして3勝し、優勝することができました。練習したことがもったいかなさるように、これからも練習を一生懸命頑張りたいと思います。

加藤政義杯ジュニアソフトボール大会 ひばりが丘チェリオが銀メダル



4月30日(祝)太宰府市において、毎年参加しているジュニアソフトボール大会(加藤政義杯)がありました。

予選は、試合に出ていない下級生の大きな声援をうけて、チームの雰囲気も良く、快勝で突破する事が出来ました。そして準決勝、決勝はとても緊迫した試合となりました。

準決勝、決勝共にバッテリーの粘り、守備の頑張り、最少失点で抑え、準決勝はその粘りに応えた打線が最終回、緊迫を破りサヨナラ打に繋がり勝利！！

決勝戦は最終回まで1対1、タイブレイクまで持ち込みましたが、相手に流れを持っていかれ負けてしまいました。

悔しさの残る決勝戦になりましたが、今後の課題も見つかり、また次の大会に向けてチームが一丸となれた大会となりました。

(準決勝) ひばりが丘チェリオ 1対0 今光ライオンズ
(決勝) ひばりが丘チェリオ 2対4 東ヶ丘ジュニアソフトボール

団員対象者は4歳児(年中児)から19歳までとなっており、幅広い年齢層で活動しています。

宇美町初心者バドミントンクラブ 最後の中体連頑張ったよ！ お母さん、一緒に筑前地区大会に行こう！

「最後の中体連」

宇美町初心者バドミントンクラブ 中川 耀水

無風の体育館は湿度が高く、立っただけで汗が流れる。

今日は決戦の時だ。ドキドキなのか、ワクワクなのか、暑さが気にならないほど気持ちが高ぶっていた。必ず筑前地区大会に出場するんだ。会場に入ると、ますますその気持ちが強くなった。

今まで指導してくださったコーチ、いつも励ましてくれた先輩、そしてチームメート。全ての人々に感謝を伝えるために結果を出すんだ。中学最後の夏。俺は必ず勝つ。

試合開始。順調に勝ち進んだ。あと一つ勝てば、筑前地区大会出場が決定だ。突然、足に激痛が走った。でも負けられない。絶対に勝つんだ。必死にシャトルを追った。そしてついに俺は勝った。その瞬間、大きな声援が聞こえてきた。皆、ありがとう。俺は勝ったよ。間もなく忘れていた足の痛みがよみがえってきて、少し笑えた。

お母さん、一緒に筑前地区大会に行こう！



「中体連の感想」

宇美町初心者バドミントンクラブ 森田 菜々美

私は、初めての中体連でとても緊張しました。今まで練習でしてきたことの成果が出せるように、一生懸命取り組みました。しかし、相手はとても強くて、少し弱気になってしまい、体がいつも通りには動きませんでした。練習でのフットワークや基礎練習をもっと生かしたいと思いました。

この経験から、来年の中体連までに試合に慣れ、今まで練習してきたことを忘れずに真剣に取り組みたいです。そしてこれからも自分の最大限の力を出し、一勝でも多く勝てるように努力します。

来年は二年生になるので、今の小学六年生の子たちが入ってきます。負けないように、そして仲間と協力し、最高のプレーができるように頑張りたいです。

リーダーが企画した キャンプはとっても楽しいよ 宇美町初心者バドミントンクラブ

「協力したキャンプ」

宇美町初心者バドミントンクラブ 沖村 優奈

5月12.13日に毎年恒例の一泊二日のキャンプがありました。キャプテンになって初めての大きな行事でした。

キャンプ場に到着してまずバドミントンの練習をして、練習後には川に入ってみんなで楽しく遊びました。カニを探したり、水を掛け合ったり、いつもはあまり話さない人たちともたくさん話す事が出来ました。夜ごはんには、カレー、焼きそば、バーベキューを食べました。みんなで食べるご飯はとてもおいしかったです。

二日目は雨でした。室内でみんなが楽しく過ごせる遊びを考えるのが大変でした。先輩方にアドバイスをもらい、ジュースチャーリとりやイントロクイズ、ばくだんゲームなどをしました。みんなをまとめるのは大変だと感じました。でも、日ごろ出来ない事をみんなでできて楽しいキャンプになりました。

これからも副キャプテンやほかの6年生と協力してみんなをまとめ、楽しく練習にはげみたいです。



宇美町スポーツ少年団では公認資格を持った指導者が130人も登録して安全な指導を行っています。

宇美町少年柔道教室

宇美中学校が糟屋区・筑前地区で優勝 第103回九州柔道大会で3位入賞

宇美町少年柔道教室の中学生の部では、近年中学校から柔道を習い始める生徒が増加しています。しかし、宇美町立中学校では柔道を指導できる教員がいないため、柔道教室で部活動の指導も全て行っています。町内中学校にも柔道を指導できる教員補充の検討をぜひ実現して頂きたいと願っています。

柔道教室には、多くの指導者が在籍しており、柔道教室を卒業したOB・OGも時間を見つけて、練習に駆けつけてくれています。

指導者の白垣先生は宇美町柔道教室の卒業生で、中体連では全国3位の成績を残された実績の持ち主で、中学生達への指導にも力が入っています。中学生達も白垣先生の指導の下、中体連に向け合同練習や各地域での大会などに出場し、たくさんの経験を積んできました。

これまで、柔道教室でのチームで各大会に出場してきましたが、中体連では各中学校での出場となり、これまで共に汗を流してきた仲間と対戦しなければいけません。みんなで力を合わせて頑張った事もあり、糟屋郡大会、筑前大会において、団体戦では宇美中学校が見事に優勝旗を手に入れ、福岡県大会の出場を決めました。

個人戦は、体重別での試合形式で、小柄で体重の軽い選手でも同じ体格の相手と対戦します。今年は柔道教室の団員から10人が福岡県大会に出場する事が出来ました。

また、宇美町柔道教室から育徳館中学校に進学した選手も、団体・個人ともに福岡県大会に出場し、同じ門下生で県大会に出場する事が出来ました。共に汗を流し、苦しい時も仲間と共に乗り越え、子供達が大きく成長した夏でした。



中体連後に夏休み期間中で最後の大会に柔道教室から「第103回九州柔道大会」に出場しました。

この大会は古くから行われている歴史ある大会で、中学校や道場などで出場する事が出来ます。キャプテン不在の中、中学生達は力を合わせて大会に臨み、見事3位に入賞することが出来て、今年の夏の最後に良い思い出を作ることが出来ました。

宇美Jr.サッカークラブ出身 松元卓巳さん

アジア太平洋ろう者サッカー大会で準優勝



宇美ジュニアサッカークラブ出身の松元卓巳さんが、4月23日(月)から5月6日(日)にかけて韓国の昌原で開催された第4回アジア太平洋ろう者サッカー選手権大会で準優勝を果たしました。

(デフ)サッカーは聴覚障がい者のサッカーです。松元さんは、普段の生活では、補聴器を使っていますが、ピッチ上では補聴器を外すので、アイコンタクトや手話でコミュニケーションを取っています。

目標は、デフサッカーワールドカップ、そして聴覚障がい者のオリンピックでもある、デフリンピックでの優勝です。

世界で活躍する松元さんから、宇美町スポーツ少年団の団員の皆さんにメッセージをいただきました。



デフサッカーアジア大会の準優勝カップを掲げる日本代表チームキャプテンの松元卓巳さん

松元卓巳さんからのメッセージ

宇美町スポーツ少年団のみなさん

デフサッカー日本代表の松元です。私は16年前に宇美Jr. サッカークラブの一期生として卒業しました。現在日本代表になれたのも宇美町スポーツ少年団で活動したからだと思っています。沢山の仲間と交流すること、刺激しあうこと。今を楽しんで目標に向かって強い気持ちを持ち続けてください。

お互いに頑張りましょう！

宇美町のHPにジャンプタイムスのバックNo.を掲載しています。「宇美町スポーツ少年団」で検索してみてください！



第7回全中国空手道選手権大会 ドラゴン・ガールがアベック優勝 実践武道空手飛凰会

平成30年8月12日に岡山県で開催された、第7回中国空手道選手権大会において、前日まで日中青少年スポーツ団員交流事業に参加していた、実践武道空手「飛凰会」の森 麗有さん(宇美中1年)が中一女子43キロ未満の部で、小森 心さん(宇美南中1年)が中一女子43キロ以上の部で、疲れも見せず、見事、アベック優勝を果たしました。

中国の食べ物が良かったのか、心身ともにリラックスできたのか、精神的に大きく成長したのか、いろんな要素が作用して優勝に結び付いたと思います。優勝おめでとうございます。



西日本豪雨災害被災地で奉仕活動 人の為に頑張れる人になってほしい 実践武道空手飛凰会



8月14日に、広島県天応付近の災害被災地へボランティア活動に参加してきました。

実際の災害の規模を目にして、子ども達は驚きを隠せない様でした。

汗だくになりながら土砂運びをしました。

ボランティアの中には、20代の若い子がたった1人で参加し、しかも一番過酷な現場を志願している方もおられ、とても感心させられました。

道場の子たちも、自分の事ばかりではなく、人の為に頑張れる子になってほしいと願っています。

被災地は、ボランティアの方が活動しやすい様に色々な備品も揃えてあり、素人の私達も手伝うことができました。

1日でも早く安心できる生活に戻られる事をお祈りしています。

九州地域親善空手道 錬成会 2018 九州選抜予選会 飛凰会の選手が大活躍



平成30年6月17日に大牟田市で開催された、九州地域親善空手道 錬成会 2018 九州選抜予選会において、実践武道空手飛凰会の選手が大活躍しました。

特別賞 宮川 博人、森 麗有(宇美中)

優勝 ○小3男子初級の部 Gブロック 久保山 瑛太(志免西小) Dブロック 鬼塚 昂輝(板付北小)

○小4男子初級の部 Eブロック 島野 武尊(須恵第三小)

○小3女子上級の部 Bブロック 清水 砂羽(宇美東小)

○小3男子上級の部 Aブロック 森 躍雲(井野小学校)

○小5女子初級の部 久保山 和胡(志免西小)

○中学女子上級の部 Aブロック 小森 心(宇美南中)

Bブロック 森 麗有(宇美中)

○中学男子上級の部 Bブロック 清水 奏匡(宇美東中)

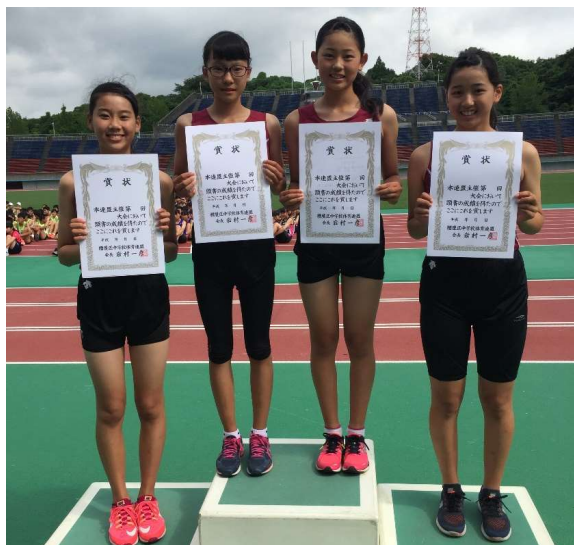
準優勝

○小5男子中級の部 Eブロック 大澤 竜成(志免東小)

○高校男子上級の部 70キロ以上 栗田 空来(魁誠高校)

宇美町スポーツ少年団では新規加盟団体の募集も行っています。詳しくは事務局にお尋ねください。

UGTCジュニア陸上教室 きめ細かな指導で中体連入賞多数



【中体連入賞者】

筑前地区大会 2位藤木なな美(1年100m)、2位梅木南美(砲丸投) 2位藤木のぞみ、3位下村梨花子(80mハードル) 2位低学年女子400mリレー(下村、森山、藤木の、藤木な)

福岡県大会 3位藤木なな美(1年100m)、5位梅木南美(砲丸投) 4位低学年女子400mリレー(下村、森山、藤木の、藤木な)

UGTCは、小中学生を対象に活動しており、中学生は18名が今年の中体連陸上競技大会に臨みました。中体連には学校登録で参加するため、陸上部の顧問や中体連担当の先生など、学校との連携を図り、理解や協力を得て参加させて頂いております。

今年の中体連陸上は、糟屋区大会において、優勝(3種目)をはじめ上位入賞を多数輩出するなど幸先のよいスタートを見せ、続く筑前地区大会も2位(4種目)、3位(1種目)など複数の入賞者が出たため、宇美中の女子総合2位に貢献する活躍を見せました。また、県大会においても、3位(1種目)、4位(1種目)、5位(1種目)と初めて複数の選手が県で入賞するなど、これまでにない活躍に正直驚いています。

今回、地区大会・県大会に入賞する活躍を見せた選手はいずれもUGTC所属の中学生です。小学生の頃から試合を経験するなど一貫指導した成果を見せ始めていますが、だからと言って勝利至上主義の競技志向で日々取り組んでいる訳ではありません。努力した結果が現れ、それが自信になり、選手たちが自発的に競技力向上を目的に陸上競技を純粋に楽しんでいる雰囲気が見受けられます。

これからも選手1人1人に合った指導を行い、それぞれの選手が持つ目標に向かって日々努力できるよう、しっかりコーチングをしていきたいと考えております。(UGTCコーチ:藤木)

全体奉仕活動頑張りました 原田WINGS



宇美町スポーツ少年団では、平成30年度からは6月を全体奉仕活動月間として位置づけ、全国一斉活動として普段の活動で使用しているスポーツ施設の清掃活動や施設周辺でのゴミ拾いなどを、団員、指導者、育成母集団のメンバー全員で協力して取り組み、奉仕の精神を培っています。

ドッジボールチームの原田WINGSも全団員が普段使用している原田小学校体育館を隅から隅まで一生懸命掃除しました。

団員も、「清掃活動を行った後は清々しい気持ちになりました。」と語ってくれました。

先輩が頑張っています 桜原ミニバスOG鈴木美歩さん 宇美東中学校で教育実習



桜原ミニバスケットボールクラブ出身の鈴木美歩さん(福岡大学スポーツ科学部4年生)が、出身中学校の宇美東中学校に体育の教育実習にやってきました。

6月11日には、陸上競技のハードル走の授業を2年生対象に実施しました。

雨天のために体育館での実施となりましたが、準備運動から説明、そして実技への流れも完璧で、生徒の気持ちの掴み方も上手でした。加えて生徒一人一人への気配りも完璧にできていました。

鈴木さんは、現在福岡大学サッカー部のマネージャーもしています。150人を超える部員を抱える福大サッカー部のマネジメントをこなしながらの教育実習でしたが、監督の乾先生も授業に駆け付けてくださり、鈴木さんの一挙手一投足に注目しておられました。

鈴木さんは少年団時代に「うみだすこ日韓青少年スポーツ交流事業」に参加し韓国に行きました。当時からリーダーシップを発揮し、女子団員をまとめていましたが、その後もスポーツ活動を続けてきました。今後、教員(指導者)としての活躍が期待されます。

宇美町スポーツ少年団は日本スポーツ少年団に加盟しています。全国に約80万人も仲間がいるんだよ



ジュニアリーダースクールにはリーダー会から15名程参加する予定です。全体の運営や班付リーダーとして一般参加団員を引っ張ります。素晴らしいジュニアリーダースクールを開催できるよう準備を進めています。

宇美町スポーツ少年団リーダー会では、只今新規会員大募集中です。

ジュニアリーダースクールをはじめ県のリーダー研修会などの参加者が新たに入会し、9月末で約30人の会員が在籍しています。

今年は、シッПС活動交流会でのオープニングレクの担当や日中交流を行ってきました。

また、ジュニアリーダースクールでは企画・運営を行います。沢山参加してくださいね。そしてリーダー会に入会して、私たちと一緒に活動しよう！

只今！新規会員大募集中！
宇美町リーダー会

宇美町スポーツ少年団リーダー会の活動概要

定例会の開催とレクの実技講習



偶数月の第4日曜日を基準に17:00～18:30の間で定例会を開催しています。定例会では、各事業の企画や反省を行ったり、アクティブ・チャイルド・プログラムやレクリエーションの実技講習を行い、毎回5種目程度を習得して単位団での活動などに役立てています。

全国の仲間たちとの交流



シッПС活動交流会の企画運営



全体交流会のシッПС活動交流会の企画運営を行っています。こうした経験を積み重ねることで、単位団で企画するイベントなどの企画力や運営力の向上を図ります。また、数多くのレクリエーションを習得することで、各単位団において下級生などへのレクリエーション指導に役立てていきます。

国際交流活動

U.L.は、国際感覚豊かなリーダーの育成を目指しています。今年は8年に一度「日中青少年スポーツ交流事業」を九州ブロックが担当し、リーダー会から8人が中国に1週間派遣されました。また、日韓青少年スポーツ交流事業で韓国の青少年と交流する機会をつくっています。



2月11日の定例会に東京都スポーツ少年団のメンバー5人が視察研修に訪れました。Jr.リーダースクールの開催方法や新しいレクリエーションの情報交換などを行いました。

リーダー会員認定証を 発行しています

公認資格であるジュニアリーダーやシニアリーダー資格を取得して、リーダー会の活動で頑張っている会員が高校や大学等の受験を行う際に有利になるよう、内申書などの調査票にリーダー会での活動を記載してもらえようように、所属する学校長あてに「宇美町スポーツ少年団リーダー会員認定証」を本部長名で発行しています。

リーダーの活動は、スポーツ少年団本部が精いっぱいバックアップしていきますので、三者面談などでのPRも忘れずに行ってください。

宇美町は日本でも有数の武道が盛んな町なんだよ！さあ君も武道で心と身体を鍛えよう！



指導者・母集団研修会 子どもの足と健康講習会に75名が参加

平成30年7月10日(火)に宇美町地域交流センター(町立図書館)2階の多目的ホールで、第1回宇美町スポーツ少年団指導者・母集団研修会が開催されました。

各単位団の指導者や保護者の皆さん75名の参加があり、熱心に学習されました。

今回は、宇美町のJR宇美駅前にあるMedical Shoe Shop KUBOTA(メディカルシューショップクボタ)店主の久保田廣さんを講師に迎え「子どもの足と健康」をテーマに講習会を開催しました。

先進国の中で、子ども達の足の健康についてこれほど無頓着なのは日本だけだと言われています。

我が子の健康に直結するお話であり、靴の選び方などお母さん方も大変熱心に聞き入ると同時に沢山の質問が関心の高さを示していました。

認定員養成講習会 2月3日・10日 宇美南町民センターで開催

宇美町スポーツ少年団では、認定員養成講習会を毎年宇美町で開催しています。

現在登録指導者は約180名、その内認定員資格所有者は約130名です。残り50名の指導者の皆様には、認定員資格と合わせて、日本スポーツ協会公認資格のスポーツリーダー資格を取得していただきたいと願っています。

スポーツ活動中の事故防止や安全対策、新しいトレーニング法の取得等、大変有意義な講習です。

12月に参加者募集しますので、多数の参加をお待ちしています。



認定員養成講習会ではACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)の実技講習も取り入れ、とても楽しい講習です。

期日:平成31年2月3日(日)10日(日)
場所:宇美南町民センター研修室・体育館
申し込み等:11月に開催要項を配布します

指導者の横顔

原田WINGS

指導者 席 聡美さん



席さんが原田WINGS指導者になったきっかけは、現監督の中島先生が17年前に原田小学校の6年生を担任されていた時に、クラスでドッジボール大会に出場した

ことがきっかけです。

二チーム出場することになり、当時学級委員をされていたこともあり、片方のチームの監督をされることになりました。

その後、中島先生の呼びかけで原田小学校にドッジボールチームを作ろうということになり、息子さんがチームに入団したこともあり、そのまま指導者に就任されました。

自分の子どもが卒団しても、原田WINGSの団員をほっとけない。また、遠征など町外で活動する際も、保護者の送迎を極力減らすために、大型免許を取得して、マイクロバスを自ら運転するなど、バイタリティに溢れておられます。

監督の中島先生いわく、保護者の方とのコミュニケーションを大切にしておられ、監督の想いを保護者にしっかり伝えてくれる。また、保護者の想いをかみ砕いて監督に伝えていただいて、チームの潤滑油の役割を果たしていただいているそうです。

団員達には、人を思いやる心を大切にしてほしいと願っておられます。「思いやり」という言葉が身につくと、親はもちろん仲間や指導者など多くの人に対して素直に「ありがとう。」という言葉が言えるようになります。

また、勝負に勝つためには厳しいこともありますが、温かさがないと失敗した子を責めてしまいます。人にボールをぶつける競技だからこそ、「思いやり」が何よりも大切です。

人を思いやる気持ちがチームに浸透しているので、「原田WINGSの団員達は、ケガをした子や失敗した子に対して、みんなとても優しく接してくれるんですよ。」と語っていただきました。

いろんな種目で女子団員も増えてきているよ！どんどんチャレンジしてみてネ！

西日本各地に遠征
強豪チームと試合は楽しいよ！



宿泊を伴う大きな大会には、広島県・香川県でそれぞれ2回、岡山県・島根県で1回ずつの年間6回参加しています。参加の際は、保護者の方に送迎の負担を掛けないように、役場のマイクロバスをお借りして参加しています。

保護者の方々が来られない分、団員は自分達のこと
は全て自分達でやっており、自主性が育っています。

究極のドッジボールは
5分間の試合中に一度もボールに触らない!?



ドッジボールはボールに当たらないように、逃げることに主眼を置いたスポーツです。低学年の団員は、無理してボールを取りに行かずに、当たらないように逃げ回ります。また、強豪チームが相手で、強いボールが来ても上級生がしっかり守ってくれます。低学年や女子団員でも楽しめるのがドッジボールの特徴です。

OB・OGも大活躍
楽しくドッジボールを続けています



原田WINGSのOB・OGがとっても元気です。日頃の練習にも5～10人くらいが来てくれます。

毎年、シニアの大会(中1から大人までが対象)に出場し、今年は、9月16日に福岡で開催された、九州ブロックシニア大会で準優勝し、10月に東京都で開催される全日本シニアチャンピオンシップへの出場が決まっています。

また中学生大会でも優勝を飾っています。現在の中3世代は小学生の時期に悔いを残して終わっていたため、その悔しさを爆発させているそうです。

すてきな単位団 原田WINGS



原田WINGSは、2003年に創部し、今年で16年目を迎える宇美町で唯一のドッジボールの単位団です。

団員は現在16人。原田小の児童を中心に井野小や宇美小からも参加しています。

ドッジボールの「ドッジ」は、「逃げる」を意味しています。ドッジボールは、ボールを相手にぶつける競技だと思われがちですが、実はボールが当たらないように「逃げる」ことがメインの競技なのです。

私たちといっしょにドッジボールやろうよ！
ただいま女子団員大募集中！



原田WINGSの山下雅姫さん(6年)、小四郎丸由乃さん(6年)、幸野咲来さん(3年)は、仲良し女子3人組で、いつも元気に活動しています。

現在は女子団員が3人しかいないため、女子団員をとにかく増やしたい。ということで、ドッジボールの魅力を語ってくれました。

小四郎丸さんは、ショットをメインで行うアタッカーです。相手に上手に当たったときは、ガッツポーズが出るくらい気持ちいいそうです。

山下さんは、早いボールをキャッチできた時はスカッとする。皆で盛り上がるのがすごく楽しいそうです。

幸野さんは、キャッチしてから監督からGO(打て)のサインが出て、相手に当たるとスッキリするそうです。

ドッジボールは女子も男子も一緒にプレイします。とっても楽しいスポーツです。一度遊びに来てね！

練習日・会場・部費について

練習日 火・木(17:00～19:30) 原田小体育館
会場 土(9:00～12:30) 住民センター体育館
会費 月2000円(兄弟1500円・1年生1000円)
対象者 小学生1年～6年生の男女
連絡先 席 聡美 TEL080-3187-4441

練習会場に遊びに来てください！あなたが来るのを元気な団員が首を長くて待っています！

宇美町スポーツ少年団では13種目27単位団で約780人の団員と約180人の登録指導者が活動しています。